

# のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

5月30日(土)、千歳町の「ふれあい農園(水田)」で、幌別中学校区の子童・生徒、父母、教職員ら約150人による田植えが行われました。

この「ふるさと農園」は、幌別中学校区学校週5日制運営委員会が、学校の週休日を活用して実施しているもので今年で7年目。

大人も子どもも泥だらけになって、「きらら397」の苗を植え込んでいました。





# 大地にきらめく 天の川

子どものころ、大きな夢を  
たくさん書いた短冊をささ竹  
に飾り、「今晚だけは星が見  
えるといいな」と祈った7月  
7日。

七夕。夜空に流れる大河  
「天の川」で、織姫と彦星が  
一年に一度だけ会うことを許  
された日。

でも、7月7日は、天空に  
流れる天の川だけが主役では  
ありません。7月7日は、  
「川の日」でもあるんです。





## 子どもたちの夢が 流れる天の川

みなさんは、「七夕」と聞くと何を連想しますか。

「7月7日に行われる行事」、「織姫と彦星が天の川で会う日」、「短冊に願い事を書いて竹に飾りつける日」など、いろいろ思い起こすことでしょうか。

それでは、そもそも七夕とは何でしょう。

七夕は、古くは「しちせき」といい、奈良時代以来に宮中で行われるようになった「乞巧でん（技巧を乞う祭りの意味）」が民間に普及したものです。

「乞巧でん」は、陰暦の7月7日に織女星（織姫）と牽牛星（彦星）の二星を祭り、歌や字を書いた五色の短冊を竹の枝葉に飾りつけ、裁縫や字の上達などを祈願す

るというもので、中国の古典籍「狼邪代醉」に記されている織女と牽牛の物語などに、その起源があるといわれています。

天の川の東岸に天帝（古代中国で宇宙の万物を支配すると考えられた神）の娘「織女」が住んでいて、朝から晩まで機に向かつて絹布を織り続けていました。天帝はこれを哀れみ、対岸で農業を営んでいた牽牛と結婚させました。

ところが、結婚してからというもの織女は機織りを放棄してしまいました。天帝は怒り、二人を引き離しましたが、織女は会うことの許されない夫「牽牛」のことを思い出しては嘆くばかり。

そこで、天帝は年に一度、天の川が一番明るい7月7日の日だけ、二人が会うことを許しました。大きなカササギが翼を広げ、天の

川の兩岸に橋を架け、その橋の中央で二人は会うことができるようになりました。

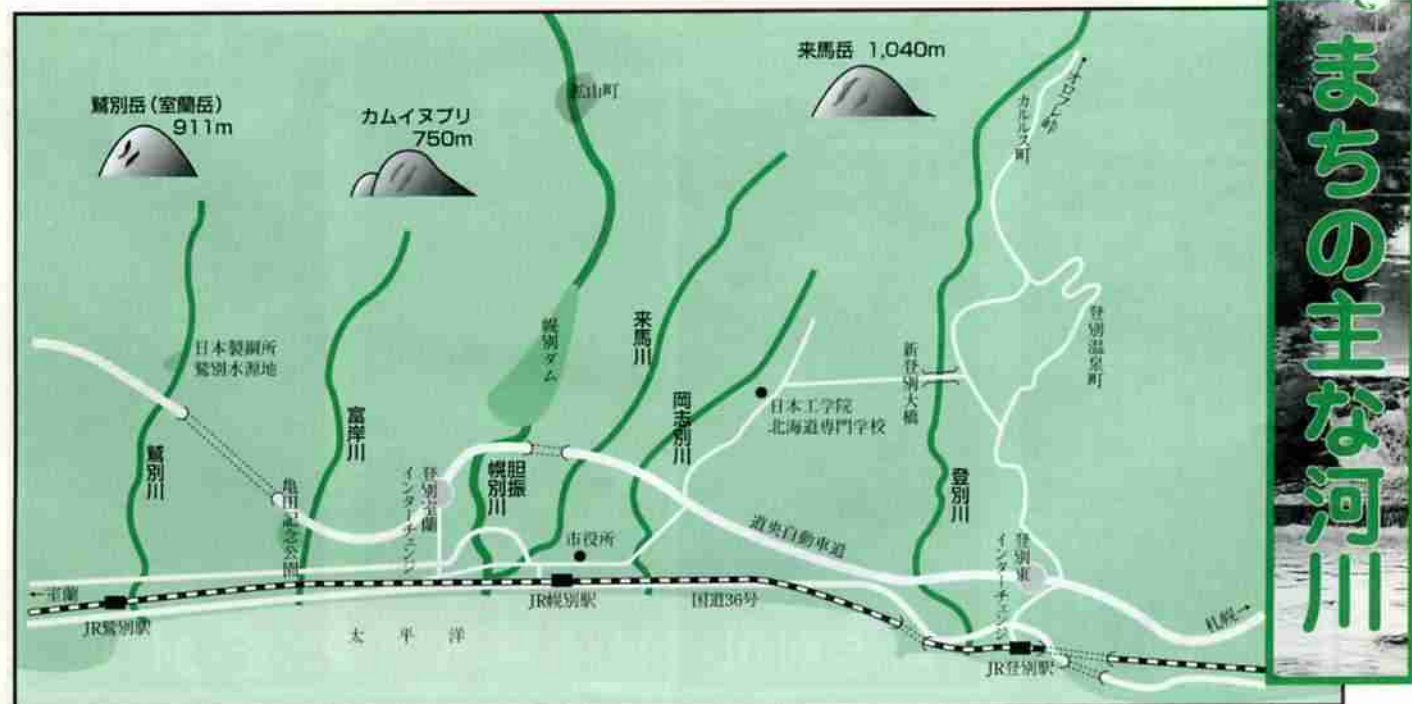
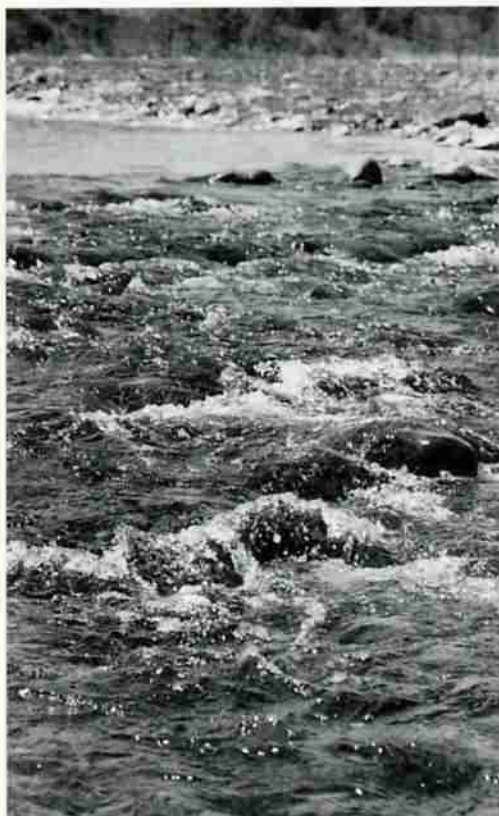
この伝説が元となり、7月7日の七夕に、機織りの上達と女性の幸せ、奈良時代の女性が習得しなればならないと考えられていた書道、裁縫、奏楽の上達などを織女星（こと座の主星ベガ）と牽牛星（わし座の主星アルタイル）の二星に願う「七夕祭り」が始まったといわれています。

現在では、女性よりも子どもが主役となり、二星に夢の実現を願う祭りとして各地で行われています。

## 7月は「河川愛護月間」、7月7日は「川の日」

平成8年に建設省は7月7日を「川の日」として制定しました。

これまでも、建設省は7月を「河川愛護月間」とし、国民に河川に対する関心の喚起を呼び掛けていましたが、河川と人との関わりの歴史や河川の魅力などをさらに強く国民に訴える必要があると考え、七夕伝説の「天の川」のイメージが強く、また、季節的に水に親しみやすい7月7日を、河川を考える日「川の日」として定め、全国的な運動を展開しています。



## まちの主な河川



時代や国を問わず、大切な資源であると共に社会の基盤をなす川。

しかし、近年、治水と利水のために川を人工的につくり変えることが多くなり、本来の流れや生き物の姿を見ることが少なくなってきました。

今、私たちは自然環境について考え、人と自然が共存できる道を懸命に探しています。

川はすべての文化発祥の地であり、自然の営みと人間の活動が交わる大切な場所です。

川が生み出す自然環境やそこに住む生き物を知ることによって、人は初めて自然との接し方を知ることができま

す。そして、それがさまざまな環境問題を解決するための「一歩」につながるのではないのでしょうか。

## さまざまな恩恵、そして氾濫

みなさんは、市内を流れる川について考えたことがありますか。山があり、海があり、温泉があり、川がある「のぼりべつ」。

豊かな自然環境に恵まれたこの「のぼりべつ」では、川はあまりにも身近にありすぎて関心を持つ人が少ないかもしれません。

川は、私たちが自然と共存していく中で、一番身近に感じることができ自然の一部であり、さまざまな恩恵を私たちに与えてくれ

ます。

私たちが口にする飲料水や生活用水はその恩恵の代表的なものといえるでしょう。

登別市は、昭和23年から水道事業を開始し、市民へ飲料水を供給しています。

その水源は、来馬川・登別川を本流とする川やその支流であり、登別温泉浄水場からは一日に約4千125立方メートルの水が、幌別浄水場からは一日に約4千立方メートルの水が各家庭などへ送り出されています。

このほかにも、登別川に設置されている室蘭市の浄水場「千歳浄水場」からは一日に2万立方メートルの水が分水され、私たち

ののどを潤しています。普段、何気なく使っている水。私たちは、大自然がもたらす恵みによって生活していくことができます。

しかし、川は私たちに恵みをもたらすだけではありません。ときとして、集中豪雨などで洪水を起こし、私たちに大自然の猛威をまざまざと見せつけます。

渇水期でも流量が10数万、もある市内一の大河「胆振幌別川」は、以前は幌別ダムの上りから川下にかけて大きく曲がりくねり、集中豪雨のたびに氾濫して人々を悩ます暴れ川でした。

歴史的にみても、明治初期に入植した片倉主従が、たび重なる幌別川の氾濫で開拓地を流され、それが他の地に移る大きな原因になったともいわれ、明治中期の四国・淡路島からの集団移住者も、幌別川にはずいぶんと悩まされてきました。

記憶に新しいところで、昭和36年10月の集中豪雨による大氾濫です。

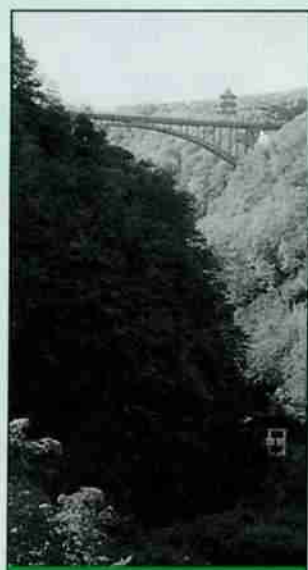
この市内全域を襲った集中豪雨で各河川は氾濫し、死者11人、道路・橋りょうなどの公共施設は壊滅的な被害を受け、浸水家屋は全戸数の50%にも及びました。



▲幌別川源流にある三段の滝

アイヌ語で「オカシベツ」(川尻・魚捕小屋・ある・川)とウ・カッチウ・ベツ(互いに・やりを投げて突き合った・川)の2つの説があります。岡志別川が流れる千歳町6丁目には、川と親しむことができる親水公園「せせらぎ公園」があり、市民の憩いの場になっています。

また、千歳町97には、野球場、テニスコート、ジョギングコース、パークゴルフ場(現在整備中)を備えた「岡志別の森運動公園」があります。



のぼりべつ 登別川



おかしべつ 岡志別川

アイヌ語で「ヌブルベツ」、色の濃い・川の意味で、登別温泉からの硫黄が流れ込み、ほかの川より水の色が暗く濁って感じられたことから付けられたといわれ、総延長約17キロメートル。水源を、オロフレ山、来馬岳、加車山に持ち、室蘭市が飲料水を取水しています。

また、登別中国庭園天華園そばには、この川に架かる逆口一七型の真紅の大橋「新登別大橋」があります。この橋は、谷底からの高さが120メートルで北海道一。



幌別川上流の川上地区にダム建設の構想が持ち上がったのは昭和35年。

市（当時は幌別町）は、洪水調整を第一の目的とした治水ダム、第二に室蘭特定工業地帯（室蘭・幌別・伊達・虻田・豊浦・白老）の発展を促す工業用水を確保するためのダム建設を検討しました。

しかし、全国どこかの例をみても、ダム建設に反対の声が出るのは当然の成り行きであり、宿命ともいえます。なぜなら、建設予定地の住民は先祖伝来の農地や山林を失うことになるのですから。

幌別ダムの建設についても、その例に漏れず、反対の声が上がりました。

幌別ダム建設予定地には、明治



▲満々と水をたたえる幌別ダム

▼母なる川に新たな命が —ウグイの産卵—



中期のころからこの地に移住し、ほとんどが三代目となる篤農家11戸が、市内でも比較的温暖で農業に適したこの田園地帯で生活していました。

町と地域住民との話し合いは難航しましたが、昭和38年6月、立ちのきの同意があり、同40年8月には起工式が行われ、有効貯水量600万立方メートルの登別市にとっては世紀の大工事が始まりました。

昭和42年9月、用水路のゲートが降ろされ、貯水の開始。同年11月には、待望の送水開始。

この幌別ダムの完成によって、地域の工業用水が十分に確保され、長年悩まされてきた幌別川の洪水も解消されるという、一石二鳥の大型工事が完了しました。

しかし、その陰には、湖底に沈んだ11戸のやむにやまれぬ献身的

な協力があったことを忘れることはできません。

川の生態系を守り育てるために

人は、川と共存していくために治水工事などを行います。

それは、私たちの生活を守っていくためには仕方のないことなのかもしれません。

しかし、生活の向上を目指したために川の生態系を破壊してしまふことが多々あります。

例えば、ダムを建設したことで、サケがそ上しなくなったり、護岸を整備したために川岸に生息していた虫などがいなくなったり。そのため、川の魚が減り、それらをえさとしていた野鳥などが減少しました。

市内を流れる川にも、さまざま



らいば 来馬川

胆振幌別川の支流で、水源を来馬岳に持つ総延長約13キロの来馬川。

来馬は、アイヌ語でライバ、死んだ・川口の意味で古川の川口を指します。ライは、死ぬという意味で、ライ・ベツは古川の水がよどんでいる所を意味し、意訳すれば「動かない、静かな」川との意味になります。

来馬川には幌別浄水場があり、登別市民のものを潤す飲料水を1日約4千トン送り出しています。



いぶりほろべつ 胆振幌別川

アイヌ語でホロ・ベツ、大きい・川の意味で、その上流は鉾山町の奥まで伸び、総延長約18キロ。支流には名勝地「三段の滝」、「不動の滝」、「川又温泉」などがあります。

幌別鉾山は、明治・大正・昭和の三代にまたがり、金・銀・銅・硫黄の生産でにぎわいましたが、幌別川は一時、鉾山の鉾毒によりサケが上らなくなりました。最近、サケのそ上が見受けられるようになり、命を育む川として生まれ変わりました。





幌別川のそばに住んだのは、昭和50年ごろ。そのころ幌別川に白鳥は来ていませんでした。  
私がこの川で白鳥と初めて出会ったのは、昭和52年の冬でした。川岸を散歩していたら、3羽の白鳥が幌別川で羽を休めているのを見つけたんです。

白鳥が安心して羽を休めることができる川。いつまでも、そんな幌別川でいてほしい。

白鳥おじさん

しちかわら えいきち  
下河原 栄吉さん (76歳・新川町)



おそらく、迷って飛んで来たのでしよう。えさをあげたいなど思い、パンを持って近付いたら威嚇されましたよ。えさを食べてくれるようになるまで1週間かかりました。それからですね。私が白鳥にえさを与えるようになったのは、以前は、一羽一羽に名前を付けていましたが、今では約60羽の白鳥がこの川に来るようになりましたので、覚えきれなくなっていました。でも、白鳥はちゃんと私の顔や声を覚えていてくれるんです。「こーい」と私が呼ぶと、みんな寄って来ますよ。愛しいですね。白鳥は私にとって特別な鳥なんです。私は戦時中の3年間、シベリアに抑留されていました。そのときに死んだ戦友の魂が、白鳥に生まれ変わって飛んで来ているように思えるんですよ。これからも、白鳥にえさを与え続けたい。幌別川がある限り。

## 川への思い



「来馬川を愛する会」は、平成7年9月に設立しました。会には、来馬川流域の10町内会の会長をはじめ多くの町内会員が加入しています。  
会の活動は、来馬川の清掃や堤防の草刈りなどさまざまです。  
私は、昭和56年からこの川のそばに住んでいます。今では、サケがそ上し、ウグイが泳ぐきれいな川ですが、あのころは汚い川でした。草は生え放題、ごみは散乱している、臭いにおいはする。ひどいものでした。こんな美しい川として生まれ変わることができたのは、地域住民の努力と協力のたまものです。本当に素晴らしいことです。  
川は、生活の場であり、文化の象徴です。その川が汚れているということ、とても悲しいことです。昨今、自宅の庭に花を植えたりして、美しくするガーデニングが流行していますが、



川に接するときも自宅の庭と同じように考えてほしいですね。  
これからの来馬川は、きれいなだけの川ではなく、市民が憩う場、小さな子どもたちが安全に遊べる川になってほしいです。私の一番好きな川ですか？ もちろん、来馬川です。

川は文化の象徴。生活の場である川を美しくするためには、まず自らが率先して活動を。

来馬川を愛する会会長

やす だ あさ お  
安田 麻夫さん (77歳・常盤町)



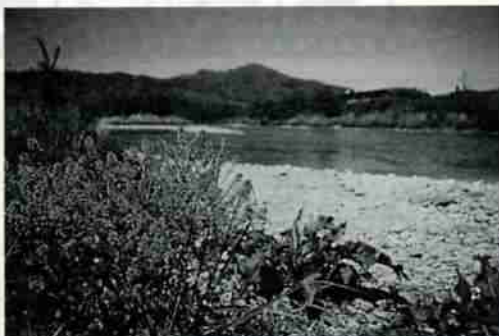
な生き物が生息しています。何十年も昔と比べると、その生態系はだいぶ変わってしまったかもしれません。

私たち人間には、自分たちのためだけにほかの生き物が生活する場を奪う権利はありません。

かといって、治水工事などを一切やめて、集中豪雨のたびに氾濫する川と共に生きていくことはできません。

人間も川に生息する生き物も、共に川と一緒に生きていける環境を実現するために私たちは真剣に考えなくてはなりません。

植物が再び根付き、虫がすむことのできる「近自然工法」や再び魚がそ上できる「魚道」の設置、川岸などへの「植樹」、魚類の繁殖保護を目的に伐採を禁止・制限する「魚付き林」、川に生息する魚類の調査や「サケ・マスふ化場」



▲幌別川の中州に咲くヤマガラシ

の設置など、各地で川と共存していくためのさまざまな事業が行われています。

命ある川を守り育てていくためには、もちろん各家庭の協力も必要です。

現在、市内の汚水などは若山浄化センターで浄化していますが、各家庭の台所で使っている洗剤などを自然に優しいものに変えたり、細かい生ごみなどが流れ出さない「水切ネット」を排水口に取付けたりとすることで、美しい川を守り育てることが出来ます。

そして、なによりも肝心なのが人々の心です。

モラルのない人は、自分が所有する土地以外で広いところを見つけたら、無性にごみを投げたくなるように、川や川岸に目を向けると、ごみがいくつも散乱しています。

市内の川では、町内会やボランティア団体など、多くの方が定期的に清掃活動をしています。

しかし、川のごみは絶えることがありません。

空き缶、古タイヤ、家庭の生ごみ、壊れた自転車、あげくには猫などの動物を捨てていく人までいます。

川は、私たちの努力無しには清浄な姿を保つことはできません。そして、人の心も努力無しには清らかではいられないのかもしれない。



▲白鳥テラス(幌別川)で写生する子どもたち

## 大地にきらめく天の川

天空に流れる美しい天の川は変わることなく悠久の時を流れていきます。

しかし、私たちの目の前を流れている川は、私たちの心の在り方、そして共存していこうとする意思無しには輝くことはできないのです。

天の川のように美しく輝き、織姫と彦星のような恋人たちが楽しい一時を過ごせる川。

子どもたちが遊び、大きな夢を育めるような川。

私たちのふるさと「のぼりべつ」に流れる川がそんな素晴らしい川に生まれ変わり、親から子へ、そしてまたその子へと引き継いでいきたいものです。

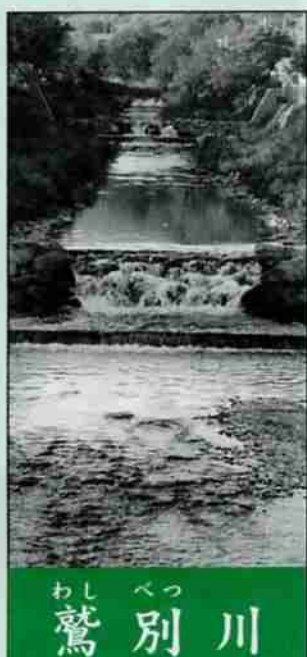


とんけし 富岸川

カムイヌプリ(アイヌ語で、神さまの山)を水源に持ち、魚道の整備が進められている総延長約8.5kmの富岸川。アイヌ語でトー・ケシ、沼の・末端の意味で、昔はこの一帯が湿地帯でした。

また、緑の楽園「亀田記念公園」には、富岸川の支流である西富岸川から水を引き、親水性を高めています。ジャブシヤブ川の愛称で親しまれる公園内の小川では、木漏れ日の中、子どもたちが水遊びをする姿を見掛けることができます。

(写真は魚道)



わしべつ 別川

鷺別岳を水源に持ち、登別市と室蘭市の間を流れる総延長約12.5kmの鷺別川。アイヌ語でこの川の語源には、カバツチリ・ベツ(鷺・川)、ハシ・ベツ(柴川)、チワシベツ(波立つ川)の3つの説があります。

川の上流には、日本製鋼所室蘭製作所の鷺別水源池があり、同製作所の工業用水として使われています。

また、毎年8月には、灯ろう流しが行われ、河口は幻想的なムードを醸し出します。



## おいしいね！自作の手打ちそば

5月23日(土)、郷土資料館・文化伝承館で、家族のつながりや参加者同士のふれあいを深めることを目的に「三世代そば打ち体験教室」が開催され、おばあちゃん、お母さん、児童など7組22人が参加しました。

参加者は、講師の山下利夫さん（登別そば研究会会長）による「そば生地」のこね方やのし方などの実演の後、さっそく手打ちそばに挑戦。

ゆで上がったそばをみんなで試食しながら、「おいしいね」「家でまた作ろうね」など会話を弾ませ、楽しくふれあいを深めました。



## 土の感触を楽しみました

5月27日(木)、登別小学校（松尾齊子校長）で「ふるさとふれあい農園（ふるさと広場実行委員会主催）」がオープンし、地域のお年寄りの協力を得て、2年生33人がジャガイモの種とカボチャの苗を丁寧に植えました。

同農園は、農作業を通じて地域のお年寄りと児童のふれあいを深めるとともに、児童の体験学習の一つとして行われています。児童とお年寄りたちは、雑草を取ったり水をやったりしながら、秋には楽しい収穫を迎えます。



## 大きく元気に育ちますように

5月17日(日)、市内の公園や公共施設の周辺など約100カ所で市民植樹が行われ、市内の47町内会が参加し、456本の樹木と1,920株の草花の苗を植えました。

この植樹は、市の市民緑化推進事業の一環として毎年行われているものです。

メイン会場となった富岸公園では、親子連れやお年寄りなど約60人の地域住民が参加。スコップやシャベルで公園内の土を掘り起こし、ヤマモミジやドウダンツツジ、レンギョウなど計168本を丁寧に植え込みました。



## 夢と希望とコサージュを胸に

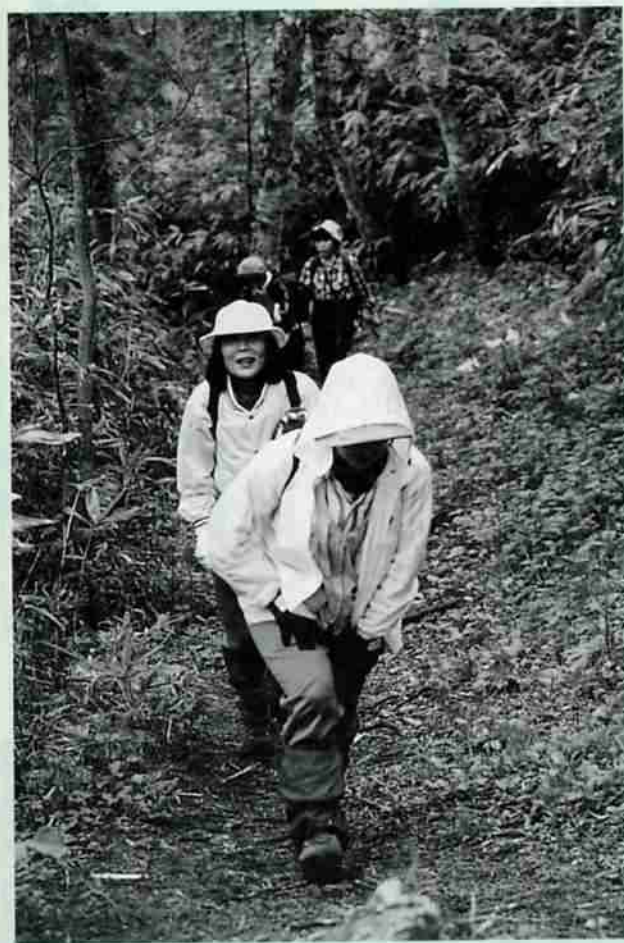
5月19日(火)、市民会館中ホールで登別市婦人短期大学の平成10年度入学式・始業式が行われました。

この婦人短期大学は、女性が生きがいのある豊かな人生を築くための教養を深め、その知識を地域社会に役立ててもらおうと行われているもので、今年で開校17年目。

本年度は、22歳から65歳までの女性39人が入学し、式では新入生が同大学同窓生の手作りコサージュを胸に、在校生や聴講生の拍手で迎えられました。

新入生を代表して田中路子さんが「学習を楽しみ豊かな自己実現を図ります」と誓いの言葉を述べました。





## 新緑の山で心地よい汗

5月17日(日)、カムイヌブリ(標高750m)で登別山岳会(河村勝会長)主催の山開き・市民登山会が行われました。この山開きは、安全で楽しい夏山登山を祈願するために行われたもので、今年で24回目を迎えます。山開きに引き続き行われた市民登山会では、小雨の降る中、小学5年生から72歳まで約80人が参加し、1時間30分ほどで山頂へ到着。日ごとに緑が深みを増す山の中で心地よい汗をかいた参加者は、6合目の山小屋で昼食を取り、下山後は同会が用意した甘酒やつきたてのもちで疲れをいやしていました。



## まちも人も燃えた熱い5日間

6月3日(水)から7日(日)までの5日間、札幌市内の22会場で『第7回YOSAKOIソーラン祭り』が開催されました。メイン会場となった大通公園では、全国から色とりどりの衣装で参加した280チーム・2万9千人が踊りを披露。登別市内からも昨年に引き続き参加した『のぼりべつ舞・舞・舞』のメンバー約90人が、『しんた21』などで週4日行ってきた特訓の成果を余すところなく発揮。湯のまち『のぼりべつ』の熱い舞いを披露し、躍動感あふれる踊りに沿道から大きな拍手が送られていました。



## くったらこ チップ漁解禁にわく倶多楽湖

5月16日(土)、倶多楽湖のチップ(ヒメマス)漁が道内のトップを切って解禁となりました。午前6時、解禁を告げるサイレンが鳴り響くと、湖面で待機していた地元や札幌方面から駆けつけた約40人の太公望たちは、26隻のボートから一斉に釣り糸を垂れました。この日は、絶好の釣り日和となり、釣り人たちは暖かな日差しを浴びながらチップ釣りを楽しんでいました。

倶多楽湖のチップ漁は8月2日まで続けられ、5月16日から6月14日までは午前6時から午後5時まで、6月15日以降は午前9時から午後4時30分まで。





# 夢と希望を翼に宿し、 白鳥が飛び立つ

〔写真は白鳥大橋ウォーク〕

## 東日本最大のつり橋

昭和30年に室蘭港をひとまたぎする大橋の建設が提唱され、同60年の着工から13年。ついに「夢の大橋」が完成しました。

東日本最大のつり橋である白鳥大橋は、橋の大きさを示す主塔間の長さが720m。

世界で28番目、国内では10番目の長大橋です。

橋の完成によって、蘭北と蘭西を結ぶ環状道路が形成され、国道36号や37号の渋滞緩和が図られるほか、白鳥大橋を基部とする絵鞆



▲巨大な風車が橋をライトアップ

半島の観光資源や祝津地区を利用した新たな観光開発が可能になります。



▲橋からは、大黒島が一望

## 大橋を自分の足で

白鳥大橋は、2車線の自動車専用道路のため、残念ながら徒歩や自転車などで渡ることはできません。

供用開始前の5月から6月には、白鳥大橋の開通記念イベントとして大橋を徒歩などで渡る「白鳥大橋ウォーク」や「ハイフマラソン大会」、「白鳥大橋サイクリング」などが行われ、胆振管内のみ

ならず、全国各地から多くの方が参加しました。

また、6月13日(土)には、白鳥大橋の開通式が行われ、その完成を祝いました。

## 白鳥大橋記念館

### 「みたら」

市立室蘭水族館そばには、白鳥



大橋の設計から完成までの実験資料をパネルや動く模型、写真などで紹介するほか、白鳥大橋を一望できる展望デッキを備えた白鳥大橋記念館「みたら」があります。

「みたら」では、白鳥大橋を華麗にライトアップする風力発電のシステムや発電状況を知ることができ、主塔カメラからの景観映像システムでは合成記念写真を撮ることができます。

子どもから大人まで白鳥大橋をさまざまな角度から楽しめる「みたら」で、白鳥大橋通になりませんか。

### ◎白鳥大橋記念館「みたら」

▼所在地 室蘭市祝津町4丁目16

15

▼開館時間 10時～21時

▼休館日 4月1日から10月31日まで無休、11月1日から3月31日まで毎週木曜日

▼問い合わせ 白鳥大橋記念館

「みたら」(☎02030)

## 白鳥大橋

区 間 室蘭市陣屋町から祝津町までの3.8km  
橋 長 1,380m  
車線数 2車線(自動車専用道路)  
航路高 海面からの高さが約55mで、大型の旅客船や貨物船も楽に通行できます  
設 計 風速67m/秒の風やマグニチュード7クラスの地震にも耐えられるよう設計されています





## バンダーは渡り鳥の移動経路や分布を調査する標識調査員

環境庁の委託により実施している野鳥の標識調査は、資格を持つ者が野鳥を捕獲し、捕らえた野鳥の右足に数字の刻まれた足環を取り付け再び放すというもので、野鳥の移動経路や分布などを明らかにする学術的な調査です。

「バンダーの資格取得のきっかけは、もともと野鳥に興味があったことと、この登別・室蘭地区に飛来する渡り鳥がどういう経路で他の地域に渡るのかという疑問を解明したかったこと、そして野鳥の中継地点として有名な登別・室蘭地区にバンダーがいなかったことから資格を取得しました。バンダーになるためには、野鳥の種類を知っているのはもちろん、野鳥のデータの取り方や野鳥の扱い方などを勉強しなければなりませんから、資格を取るまではかなりハードなものでした。」

## 渡りルートはなぞが多く、解明するには長い年月がかかる

野鳥の活動は、夜明け前の空が白み始めてから日の出後2時間までが活発で、それ以降は低下してしまうのがほとんどと話す伴野さん。

「春の標識調査は、4月下旬か



ら5月にかけて行いますが、自分の生活のリズムを鳥に合わせなければいけませんから最盛期は体力勝負です。調査は夜明け前から始まります。かすみ網を使って捕獲した鳥を、一羽ずつ体重や体長、雌雄、羽の状態などのデータを取り、鳥の右足に標識となる足環を付けて放します。多いときは、一日に千羽以上のデータをとることもあるので、ものすごい忙しさです。データを取り終えて、標識を付けた後「元気に戻って来いよ」と声をかけてそっと放します。室蘭の絵柄半島は、渡り鳥にとって貴重な中継地点であることをみなさんにも知ってもらいたいですね」。

豊かな自然環境をこれからも大切にしていきたいと話す伴野さんのおだやかな表情は、旅立つ鳥たちへの慈愛に満ちています。



伴野俊夫さん 昭和21年6月生まれ。52歳。

自然愛好グループ「ヨシキリの会」代表。自然環境に対する造詣が深い。登別市内の野鳥を紹介する図鑑『ピリカチカッポ（美しい野鳥たち）』の発行を予定している。

# きらり

KIRARI

ばんのとしお

## 伴野俊夫さん(新川町)

登別市・室蘭市で唯一のバンダー（野鳥の標識調査員）として認定されている伴野さん。約3年前に資格を取得し、会社勤めをしながら鳥類標識調査という「渡り鳥」の調査を行っています。

また、美江夫人（51歳）の協力を得て、子どもたちへの自然教育にも力を注いでいる伴野さんに話を聞きました。

**野鳥が好き。だからこそ、渡り鳥のなぞを解き明かしたい。**





# 祭

# り

夏です。みなさんは、登別の短い夏をどのように楽しんでいきますか。

海やプールに泳ぎに行ったり、夕涼みをしながら虫の声に耳を傾けたり。人それぞれいろいろな楽しみ方があるとありますが、登別

## 地獄まつり

日(日)・登別温泉街

昭和39年に新たな観光イベントとして始まり、今では北海道を代表する夏祭りの一つとなった「登別地獄まつり」。

「地獄まつり」は、年に一度、地獄のかまのふたが開き、登別温泉街にやってくる閻魔大王や地獄の鬼たちを歓迎するお祭りです。

3日間で約6万人といわれる観光客の目を釘付けにするのは、平成5年に製作された高さ約6mの「閻魔大王からくり山車」。柔和な顔つきの閻魔大王が、瞬時に憤怒の形相に変わり、地獄の審判を下す様は圧巻。

からくり山車の前方には、赤鬼、青鬼、九王、女官など、閻魔大王を取り巻く一族が織り成す絢爛豪華な「地獄大行列」が、祭りの夜を幻想的に演出します。

威勢のよい掛け声と共に、重さ約1tの赤鬼みこしが観光客の立ち並ぶ沿道に飛び込まんばかりに迫る「鬼みこし暴れねりこみ」は地獄まつりのシンボル。

鬼みこしの迫力と熱気で盛り上がった祭りは、約2千人が参加する「鬼踊り大群舞」でその頂点を迎え、地獄谷を舞台に夏の夜空を彩る「昇天花火大会」で3日間の地獄絵巻は幕を閉じます。

▶問い合わせ 登別観光協会 (☎) 3311

## '98のぼりべつ豊水まつり

7月18日(土)〜19日(日)・アーニス前



# 水

「のぼりべつ豊水まつり」は、昭和58年から行われていた「のぼりべつ提灯まつり」が、登別の豊富な水にちなんで名称を変え、生まれ変わった新しい市民祭り。

登別中央ショッピングセンターアーニス前を会場に、熊舞や太鼓などの郷土芸能、よさこいソーラン、今も昔も変わらない金魚すくいなどの露店が軒を連ね、夏の涼を求める多くの市民が祭りを楽しみます。名称を変えて3年目の今年は、各種イベントも充実し、河内音頭保存会による本場「河内音頭」が披露されるほか、ステージではテーマパークなどによる迫力満点のショーが行われます。

輓別の空を夕焼けが赤く染めるころには、昨年新作された新しい市民踊り「豊水トントン」がスタート。約千人に上る踊りの輪が祭りのムードを一層盛り上げます。

▼問い合わせ 登別商工会議所 (☎) 4111

## 登別グリーン・ピアサマーフェスティバル

8月1日(土)〜2日(日)・若草中央公園



# 涼

地域の活性化を願い、グリーン・ピア商店会と地元町内会が共同で行う新生・若草地区住民手作りの夏祭り「登別グリーン・ピアサマーフェスティバル」は、今年で11年目を迎えます。

若草中央公園(道道上登別室蘭線沿い)を会場に行われるこの祭りの目印は、会場入り口に下げられる白地に「祭」と書かれた巨大なちようちん。

会場には、焼き鳥やおもちや、型抜きなど昔ながらの露店数十店が店開きし、特設ステージでは、太鼓演奏やカラオケ大会などが次々と催され、会場は祭りムード一色。

ビールを片手に焼き鳥をつまみ、祭りの味を堪能する人や浴衣姿で祭りの夜を楽しむ家族連れで夏の一日は過ぎていきます。

▼問い合わせ 実行委員会事務局・田中さん (☎) 2922





# 祭

の夏を楽しむなら「祭り」に行くのが一番。今号では、7月から8月にかけて、市内で行われる祭りの一部をご紹介します。

今年の夏は、祭りに出かけて『登別の夏』を思いっきり楽しんでみませんか。

## 第35回 登別

8月28日(金)～30



## 御輿

## 閻魔



## '98フラワーパレットのぼりべつ

7月11日(土)～12日(日)・登別マリナーパークニクス前庭



## 花



登別マリナーパークニクス前庭を会場に行われる「フラワーパレットのぼりべつ」は、花を愛する人でまちをいっぱいになろうと登別まちづくり促進期成会が中心となり、登別地区の各団体などと協力して行っているもので、今年で8回目を数えます。

登別中学校生徒によるブラスバンド演奏で始まる2日間の花の世界は、まるでおとぎ話の世界に迷い込んだようです。

「フラワーパレットのぼりべつ」は、花を愛する人の心に咲いた大きな花。子どもたちの笑顔と盛りだくさんのイベントが「つぼみ」となって、花開こうとしています。

市民が里親になって、各家庭で花の苗を育ててもらい、翌年のフラワーパレット会場に展示する人気イベント「花の里親」に、あなたも参加しませんか。

▼問い合わせ 実行委員会事務局・勝間さん

(☎)1005

## 第11回 鷺別七夕まつり

7月6日(月)～7日(火)・新和デパート前

## 夢



毎年、7月7日の七夕にあわせ、新和デパート前(鷺別町)の通りを会場に行われる「鷺別七夕まつり」。

この祭りは、地域おこしと子どもたちにもっと夢をもってもらおうと、鷺別商店会と地域住民が一体となって取り組んでいる地域イベント。

祭りの目玉は、鷺別・若草小学校などの児童から寄せられた数百に及ぶ夢いっぱい短冊展。「けんかのない学校になりますように」や「すてきなバレリーナになりますように」など、子どもたちの夢が書かれた短冊が見るもののみを誘います。

焼き鳥や焼きそばなどの屋台が軒を連ねる会場では、短冊入賞者の表彰式やさまざまなイベントが催され、訪れた大勢の市民が初夏を満喫します。

▼問い合わせ 実行委員会事務局・斎藤さん

(☎)6155





さとうしょうこ  
佐藤昌子さん

昭和28年1月生まれ。45歳。  
平成6年1月から同センターに勤  
務。介護福祉士の資格を有し、ケア  
マネージャーとしての活躍中。

「お年寄りは外出する機会が少な  
く、どうしても家に閉じこもりがち  
になってしまいま  
す。お年寄りがデイ  
サービスセンターに  
来られたときは、1  
日を楽しく過ごして  
いただくように、  
いろいろ工夫してい  
ます」と話す佐藤昌  
子さんは、デイサー  
ビスセンターがオー

「登別市社会福祉協議会」は、福  
祉ボランティア活動の育成・支援を  
はじめ、障害をもつ方と健常者がふ  
れあえる「ふれあい広場」の開催や  
お年寄りを地域ぐるみで支援する小  
地域ネットワークの構築を行ってい  
るほか、市の委託を受けてデイサー  
ビスセンターやファミリーサポート  
センターを運営するなど、21世紀に  
向けた幅広い活動を行っています。

日常生活に支障のあるおむね65歳以  
上のお年寄りを対象に食事や入浴、  
「お年寄りは外出する機会が少な  
く、どうしても家に閉じこもりがち  
になってしまいま  
す。お年寄りがデイ  
サービスセンターに  
来られたときは、1  
日を楽しく過ごして  
いただくように、  
いろいろ工夫してい  
ます」と話す佐藤昌  
子さんは、デイサー  
ビスセンターがオー



# しんた21

登別市デイサービスセンター  
片倉町6丁目9-1 (総合福祉センター  
「しんた21」内 ☎0101)

人が輝き まちがときめく



## 仲間たち Group

### 登別俳句協会

五感を研ぎ澄ませ、四季  
折々の季節感を心で詠む  
17文字。

「俳句をつくるには『有季定型』  
といって、5・7・5の17文字の中  
に季語を読み込まなければいけませ  
ん。初めのうちは難しいかもしれま  
せんが、何千もの季語の中から、自  
分が詠みたいと思うものを選んでつ  
くればよいのですから、やってみる  
と面白いですよ。頭の体操にもなり  
ますし。何と言っても鉛筆1本と紙  
1枚があればいいんですから」と語  
るのは事務局長の千葉清一さん(74  
歳)。  
昭和23年に創立された登別俳句協  
会。会員数の減少により一時活動が  
途絶えたものの、流派を超えた市民  
の句会をつくろうと昭和40年に再び  
活動を始め、現在に至っています。  
会員数は、60代から80代までの42  
人。会員が持ち寄った句を互いに選  
び、批評し合う月3回の月例会や  
春と秋の吟行会、年明けに行う新年  
句会のほか、新聞に投稿して自分の  
力を試すなど、会員同士が切磋琢磨

登別俳句協会5月句会の佳句  
水満たす田に影おいて夏の山  
駅前には並ぶ自転車風光る  
昔川つてすみれに少し日とこぼす  
春うらら床屋の椅子に眠りけり  
老鷹や侍車の長き無人駅

しながら自己研さんを積んでいま  
す。  
「俳句は『省略の文学』とも呼ば  
れます。どうやって一つの句を17文  
字で表現するか。そこが俳句の難し  
さであり面白さでもあるんです。良  
い句をつくろうと意気込んで、な  
かなかいいものはできません。普段  
からいつも手帳を持ち歩き、頭に浮  
かんだことをその場でメモして忘れ  
ないようにしています。思い付いた  
言葉を温めておいて、1年後に句が  
できることもありますよ。俳句は、  
ものの色や音、においなど五感の対  
象を心で詠むので、俳句を始めてか  
ら自然を見る目が変わったという人  
もいます。四季の変化によって起こ  
る日常の一コマを一つの句で表現で  
きるのが俳句ならではの醍醐味で  
すね」と俳句の魅力を語る千葉さん。  
入会を希望する方は、千葉さん  
(☎0101)までどうぞ。



## ちよつと ひとごと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室 中央町6-11  
☎1122 FAX1108



### 不法投棄を なんとかして

市内を散歩していると、空き地や道路沿いに、冷蔵庫やたんす、タイヤ、そしてコンクリートや木材などの廃材が捨てられているのを見つけることがあります。

景観上も良くありませんし、ごみを回収するにしても、私たちの貴重な税金が使われます。不法投棄をさせないようになんとかできないものでしょうか。

(富士町 無職男性)

#### 【お答えします】

コンクリートや木材などの事業活動から生じる産業廃棄物は、定められたところでの処理が義務づけられています。また、一時的に家庭から出される大型ごみ(200kg以上)も許可業者に依頼するか、自分で処分場に搬入することが必要です。

市としても、日ごろから市内の巡視を行い、不法投棄を見つけた場合は投棄者を特定し、適正な処理をするよう指導していますが、悪質な場合は警察署に通報し、摘発することを考えていますので、不法投棄を発見した場合は、清掃業務課(☎2958)へご連絡ください。

(市民生活部清掃業務課)

ブシした平成6年から在宅老人デイサービス「ケアワーカー」として活躍しています。

「在宅老人デイサービスでは、専用バスでお迎えした在宅のお年寄りの健康状態のチェック、食事や入浴サービス、リハビリを兼ねたレクリエーションなどを行っています。食事は、栄養のバランスに配慮した献立を立てていますが、食事を取るときは、出来るだけ自分で食べてもらい、お年寄りが今、持っている能力を最大限に使っていただくよう心掛けています。入浴サービスでは、自宅ではなかなかお風呂に入れないお年寄りでも、安心して入浴出来るよう絶えず気を付けながら行っています。」

「お年寄りには、昔懐かしい曲がとでも喜ばれるので、出来るだけ多くの曲を弾けるように練習しています。最初はみんな遠慮していますが、慣れてくると自信を持って歌ってくれるようになります。お年寄りが専用バスに乗って、家に帰るときの晴れ晴れとした顔を見ると、私もうれしくなりますよ」と語る佐藤さんの笑顔は、お年寄りにやすらぎと潤いを与えています。

霧状のお湯で体を洗う最新型の特設浴槽



さがらゆうこ  
相良有子さん(22歳)

北海道銀行登別支店勤務

お客さまが満足する一番の窓口を目指しています。

「生まれは登別市ですが、3歳のときに稚内に引っ越し、そこで育ちました。高校卒業後、稚内支店に1年間勤務し、父の転勤に合わせて登別支店に転勤しました。ここでの勤務は4年目になります」と話す相良さんは、預金の出し入れや振り込みのとりまとめなど窓口全般を担当しているほか、新人職員の指導も担当しています。

「いつも笑顔でお客さまに接するよう心掛けています。お客さまに満足していただけるような支店内で一番の窓口を目指しています」という相良さん。

いつかはニューヨークやアメリカ西海岸に行ってみたいという相良さんの笑顔は、ますます輝きを増しています。





あいらびる

登別市観光開発審議会委員

を公募します

市は、観光基盤の整備と良好な環境の形成を図り、自然と調和する観光開発を推進するため、昭和50年から登別市観光開発審議会を設置し、魅力ある観光地づくりを推進しています。

この観光振興の推進に広く市民のみなさんの意見を反映させるため、登別市観光開発審議会委員を公募します。

▼応募資格 市内に居住する20歳以上の方

▼募集人数 2人

▼申込方法 観光課、市役所総合案内、各支所に備え付けの申込書に必要事項を記入し、7月15日(木)までに観光課(☎059-0551)へ直接または郵送で申し込みください

▼申し込み・問い合わせ 観光課(☎2018)

国民健康保険税の

納税通知書を発送します

市は、平成10年度国民健康保険税の納税通知書を7月中旬に発送します。なお、保険税の税率と限度額は次のとおりです(平成9年度と同じです)。

区分	税率など	計 算 方 法
所得割①	13%	世帯の所得(平成9年分)×13%
均等割②	28,000円	世帯の加入者数×28,000円
平等割③	32,000円	1世帯あたりの定額
合 計④		①+②+③=1年間の保険税(限度額500,000円)

※①の所得割については、所得の種類(給与所得・営業所得・年金の所得など)により計算方法が異なりますので、詳しくは問い合わせください。  
※④が限度額を超える場合、④は500,000円となります。

国民年金の集合徴収と

年金相談のお知らせ

市は、室蘭社会保険事務所と合

※1 譲渡所得(土地や建物を売ったとき)のある場合は、特別控除前の所得で計算します。  
※2 専従者控除のある場合は、専従者控除前の所得で計算します。  
※3 保険税は届け出日ではなく、資格発生日からかかります。  
※4 年度の途中で国保の資格を取得または喪失した場合は、月割りで計算します。

▼問い合わせ 保険年金課(☎1771)

同で、国民年金の納付相談と年金相談を行います。保険料の納付方法や免除手続きなど、年金についての相談をお受けします。

日 時	場 所
7月15日(水) 10:00~19:00	婦人センター
7月23日(木) 10:00~19:00	鷺別公民館

▼日時・場所  
▼持参するもの 年金手帳、印鑑、保険料の納付書、保険料  
▼問い合わせ 保険年金課(☎1771)

市民セミナー

「家庭・家族を考える」

子どもを取り巻く状況から家庭・家族の在り方を考えます。

月 日	7月22日(水)	7月31日(金)
時 間	18:30~20:00	
場 所	登別市民会館	
内 容	変化する現代の子どもたち	非行から見える子ども心
講 師	あやひろし 青柳宏さん (文化女子大学 室蘭短期大学 助教授)	おもりあまみ 大森晶夫さん (北海少年院長)

▼参加料 無料

▼申し込み・問い合わせ 7月15日(木)までに社会教育課(☎1100)

ハンスのデンマーク講座を

開催します

▼日時 7月21日(火)・29日(水)、8月5日(水) 18時30分~19時30分  
▼場所 登別市民会館視聴覚室  
▼講師 ハンス・ラワセンさん(デンマーク研修生)  
▼内容 デンマークの紹介、簡単なデンマーク語会話など  
▼定員 15人(申込順)  
▼受講料 500円(教材費)  
▼申し込み・問い合わせ 登別デンマーク協会事務局・東さん(市民課内☎1855)

親子で楽しもう

「ファミリー紙ねんど教室」

▼日時・場所

日 時	場 所
7月27日(月) 10:00~12:00	婦人センター
7月28日(火) 10:00~12:00	登別市民会館
7月29日(水) 10:00~12:00	若草小学校

▼対象 5歳以上の子どもとその親(子どもだけの参加もできますが、未就学児は父母同伴となります)

▼定員 各日50人(申込順)  
▼内容 紙ねんどを使った工作(事前に作るものを決めて、当日その写真や絵を持参してください)

▼参加料 200円(紙ねんど代)  
※参加料は当日持参してください。

▼持ち物 古新聞、ねんどペラまたは割りばし、紙コップ、乳酸菌飲料の容器、おしぼり  
▼申し込み・問い合わせ 7月17日(金)(土・日曜日を除く)までに文化・スポーツ振興財団(☎1116)

98 フラワーパレット

のぼりべつ

▼日時 7月11日(土) 12時~22時、7月12日(日) 10時~16時

▼場所 登別マリナーパークニクス 前庭

▼主な内容

①11日(土):12時~露店、15時~オープンングセレモニーなど  
②12日(日):10時~フリーマーケット、15時~大ビンゴ大会など  
③両日:巨大ジグソーパズル、シヤボン玉製造工場など  
※なお、1千円の前売りチケット(ビール券400円2枚、商品券100円2枚、登別マリナーパークニクス入場無料券1枚付き)を発売しています。チケットの取扱先については問い合わせください。

▼問い合わせ 実行委員会事務局 勝間さん(☎1005)



# 投票日は7月12日(日)

参議院  
選挙区  
比例代表  
選出議員選挙

投票時間  
7時～20時

※ただし、第11投票所（カルルス婦人研修の家）と第13投票所（市民研修センター）の投票時間は7時～17時。

臨時サイレンが鳴ります  
投票の呼び掛けと投票開始をお知らせする臨時サイレンを7月12日(日)午前7時から30秒間、消防署と各支署で吹鳴します。

問い合わせ  
選挙管理委員会事務局  
(☎859143)

選挙日程	
選挙人名簿登録基準日	6月24日(水)
選挙期日の公示	6月25日(木)
不在者投票	6月25日(木) 7月11日(土)
投票日	7月12日(日)
開票日(即日)	7月12日(日)

10年6月12日までに転居届を出した方は、新しい住所地の投票所で投票してください。  
また、平成10年6月13日以降に転居届を出した方は、前住所地の投票所で投票してください。

## 不在者投票

投票日当日、仕事や旅行などで投票所に行けない方は、不在者投票をすることができます。

- ▼期間 6月25日(木)～7月11日(土)
- ▼時間 8時30分～20時
- ▼持参するもの 入場券(入場券を紛失した場合でも投票できます)

▼場所 選挙管理委員会事務局  
(市役所第2庁舎)

## 郵便投票制度

身体に重度の障害があるため、投票所で投票できない方は、自宅に投票用紙に記入し、選挙管理委員会へ郵送することができます。ただし、自分で記入することができ、自己の意思で投票用紙に記載ができる方に限ります。

※なお、新たに郵便投票を請求する方は、事前に郵便投票証明書の交付を受ける必要があります。詳しくは問い合わせてください。

### ▼対象

◎身体障害者手帳に記載されている障害の程度が次の方

①両下肢・体幹・移動機能の障害が1級～2級

②心臓・じん臓・呼吸器・ぼうこう・直腸・小腸の障害が1級～3級

◎戦傷病者手帳に記載されている障害の程度が次の方

①両下肢・体幹の障害が特別項症～第2項症

②内臓機能の障害が特別項症～第3項症

投票区域と投票所の一部を変更します。お間違いのないようご注意ください。  
※なお、投票所にすずらんの家と若山の家を新たに設けました。

## 投票所を変更します

対象地区	旧投票所	新投票所
幸町1～2丁目・4丁目、 幸町3丁目1番地1～9番地3	労働福祉センター (千歳町3丁目1番地)	すずらんの家 (幸町5丁目27番地)
幸町3丁目10番地1～、 幸町5～6丁目、 富浦町4～5丁目	富浦会館 (富浦町1丁目46番地)	
大和町1丁目、 若山町1～2丁目、 青葉町21番地～	登別大谷高校 (桜木町2丁目1番地)	若山の家 (若山町2丁目43番地)
大和町2丁目	富岸青少年会館 (富岸町2丁目23番地)	
新生町1丁目	若草つどいセンター (若草町4丁目21番地)	千代の台集会所 (新生町3丁目13番地)
新生町6丁目	富岸青少年会館 (富岸町2丁目23番地)	
若草町6丁目	若草小学校 (若草町1丁目1番地)	若草つどいセンター (若草町4丁目21番地)
美園町2丁目	美園婦人研修の家 (美園町4丁目8番地)	若草小学校 (若草町1丁目1番地)

## 市内の投票所で投票できる方

- ◎平成10年3月24日までに転入の届け出を済ませ、引き続き3カ月以上住所を有している方
- ◎昭和53年7月13日までに生まれた方

## 市内で住所が変わった方

登別市内で住所が変わり、平成

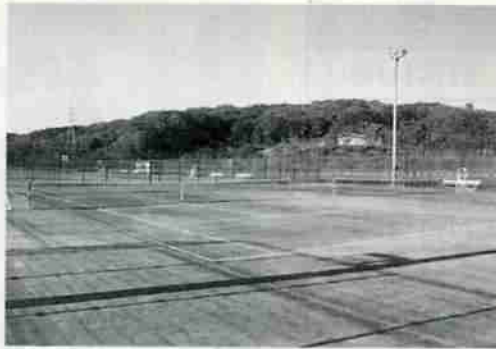
## 投票の方法

◎選挙は、「選挙区」と「比例代表」の2種類です。

◎「選挙区」は、候補者の氏名を記入してください。

◎「比例代表」は、政党名を記入してください。





▼ジョギングコース



# このまちが 好き

おかしべつ  
『岡志別の森運動公園』(千歳町97)で、  
スポーツしませんか

- ◎岡志別の森運動公園野球場  
利用期間 10月31日(土)まで  
利用時間  
・5月:6時~18時  
・6月~9月:5時~19時  
・10月:6時~17時
- ◎岡志別の森運動公園テニスコート  
施設内容 砂入り人工芝4面(うち夜間照明付き2面)、クレイコート2面  
利用期間 11月20日(金)まで  
利用時間 6時~21時
- ◎岡志別の森運動公園ジョギングコース  
施設内容 約1キロ  
※パークゴルフ場は、8月中旬以降のオープンに向けて現在整備中です。また、野球場・テニスコートは有料ですので、使用料を確認のうえご利用ください。なお、ジョギングコースは無料です。
- ▼岡志別の森運動公園各施設の申し込み・問い合わせ  
岡志別の森運動公園管理事務所 (☎0143252525)

## となりまち ホットライン

### 室蘭市

今年の「むろらん港まつり」は  
さらにスケールアップ!

- 白鳥大橋開通を記念した多彩なイベント「スワンフェスタ98室蘭」(7/31~8/9)の中で、むろらん港まつりが3日間開催されます。
- ◎納涼花火大会:7月31日(金) 20時5分~20時50分(エンルムマリナー沖) 白鳥大橋のライトアップ・フィルミネーションと大花火大会の競演が夜空を美しく彩ります。
- ◎室蘭ねりこみ:8月1日(土) 18時30分~(中島町周辺) みこし、山車の勇壮なパレード。
- ◎よさこいソーラン in むろらん:8月2日(日) 14時~(中央町周辺)
- ▼問い合わせ 室蘭観光協会 (☎01430102)

### 伊達市

#### 勇壮華麗な戦国絵巻

「伊達武者まつり」にお越しを



- 武士による開拓の歴史と伝統を今に伝える伊達の夏の祭り「伊達武者まつり」が開催されます。興奮の夜を彩る「伊達武者山車」は、太鼓山車に合わせ武者山車がダイナミックに市内を練り歩きます。また、「伊達騎馬総陣立」は、総勢400人の甲冑武者が武家屋敷風の町並みを行進します。
- ◎伊達武者山車:8月1日(土) 18時30分~ JR伊達駅前を出発し、市内を練り歩きます。
  - ◎伊達騎馬総陣立:8月2日(日) 15時~(だて歴史の杜駐車場)、市内パレードは16時から
  - ▼問い合わせ 伊達市商工観光課 (☎0142233331)

この広報紙は再生紙を使用しています。

